

# 早稲田大学 大地震対応マニュアル

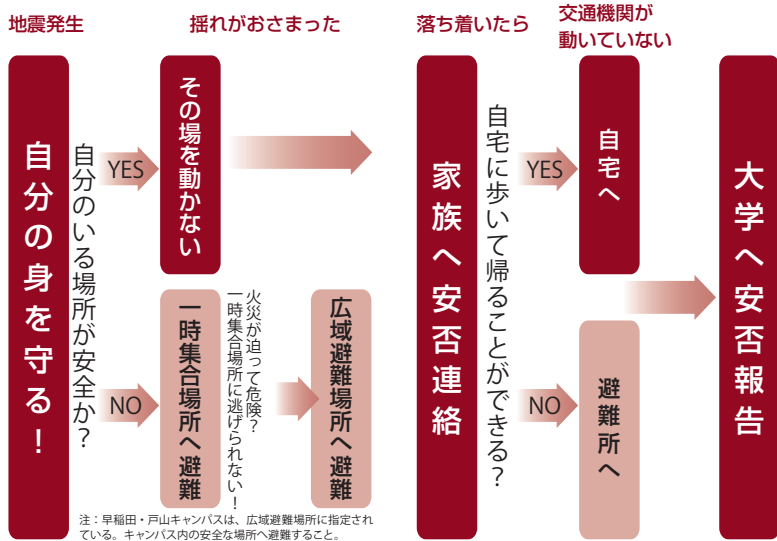
【学生用】 第4版  
2009年4月1日改訂



震度6弱以上の地震が発生した場合はこのマニュアルを参考に落ち着いて行動してください。

震度6弱とは…立っていることが困難。かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い建物では、壁や柱が壊れることがある。

## ① 地震発生から避難までの流れ



## ② 地震が発生した瞬間どうする？

- 窓や棚のような、ガラスが割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下などにもぐるか、バッグ・衣類などで頭を覆うなどして、ガラス、黒板、テレビ、蛍光灯などの落下物から頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口の確保をする。
- 実験中など火気を使っているときは、火を消す。また薬品などから離れる。
- 広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み揺れがおさまるのを待つ。

## ③ 揺れがおさまったらどうする？

### ① 自分自身の心構え

- 冷静に、落ち着いて
- 建物は安全か、火災は起きていないか、負傷者はいないかなどの確認をする。火災の場合、負傷者がいる場合は、最寄りの事務所に連絡する。火災、負傷者がいる場合は、自分の身が安全な範囲で初期消火、応急手当をする。
- 余震が起きるかもしれないので、しばらく様子を見る。

### ② 避難するかどうかの判断と行動

#### ①判断するときのポイント

- 以下の事項が「安全」と確認できた場合は、その場を動かない方が安全である。
- ガラス、黒板、テレビなどが倒れてこないか。天井から落ちてくる物がないか。薬品が流れ出ていないか。

### ③ 揺れがおさまったらどうする？

- 建物が傾いていないか。壁にひびが入ったり崩れたりしていないか。
- 火災が起きていないか。消火できるかどうか。

#### ② 行動に移るときのポイント

安全が確認できない場合は、次のとおり行動すること。

- 火災が起きている場合は避難する前に、タオルやハンカチで口を覆う。
- どのルートで避難すれば安全か確認する。
- エレベーターは使わず、階段で避難する。
- 押し合うなど周囲の人の安全を脅かさないよう注意する。

### ④ 落ち着いたたら

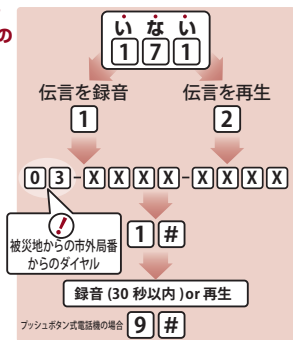
#### ① 家族との安否連絡

家族との安否連絡は、NTTの災害伝言ダイヤルが携帯電話各社の災害用伝言板を利用するとよい。

あらかじめ家族と連絡方法を決めておくことよ。

例えば NTTdocomo は大地震発生時「iMenu」のトップに「災害用伝言板」メニューが表示される。

#### 災害伝言ダイヤルの使い方



### ④ 落ち着いたたら

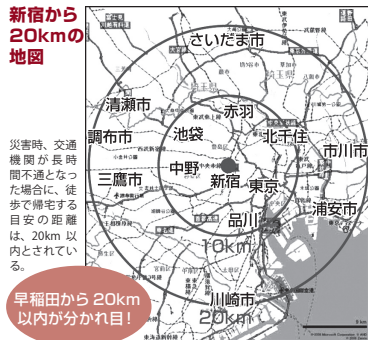
#### ② 帰宅する？学校に残る？

余震がおさまり落ち着いたら、自宅に帰るか検討する。

交通機関が動いていない場合は歩いて帰宅することになる。

その場合の目安は 20km。20km よりも遠い人は大学が用意する避難所 (指定された教室) へ。

#### 新宿から 20km の地図



### ④ 落ち着いたたら

#### ③ 大学へ安否報告

落ち着いたら、大学に対し安否を知らせること。

電話での報告はできる限り控えること。

#### ① Waseda-net portal の申請フォームで連絡

コンピューターが使用可能な場合、大学のホームページまたは Waseda-net portal 左メニュー→申請フォーム入力→大地震発生時の大学への安否報告に記入し、送信する。

#### ② はがきによる報告

表題「安否報告」・氏名・学籍番号・本人や家族の怪我の有無・自宅の損壊状況・連絡の取れる電話番号、住所・困っていること・自宅や避難場所付近の状況

以上をはがきに記入し、以下の宛先に郵送する。

郵便番号 169-8050  
東京都新宿区西早稲田 1-6-1  
早稲田大学 ○○学部・○○研究科事務所

### ⑤ 日頃から準備しておくこと

- 避難場所の確認
- 家族との連絡方法の確認
- 自宅の家具などの転倒防止
- 非常用持ち出し品の準備
- 非常用の備蓄 (食料や水) の準備
- 自宅の建物の強度確認

さらに詳しいマニュアルは…

<http://www.waseda.jp/ecocampus/saf/inschool/images/ermstudent.pdf>